

みちづくし in 佐世保 2019 を振り返って



牧 圭子

MAKI Keiko

道守長崎会議代表世話人

はじめに

九州では、植栽や清掃等、道に関する様々な活動を行っている道守の方達が年1回集まって情報交換を行う大会を、みちづくし（道守九州会議交流会）と呼んでいます。

平成16年から九州各県持ち回りで開催してきました。そして、平成31年に長崎県で開催することに決定。これまで、長崎市で2回開催していましたので、今回は佐世保市で開催しようということになりました。早速、平成30年11月に準備会を開催して、開催日時、会場、実行委員会の構成等を協議しました。

1. 談論風発，実行委員会

平成31年1月に第1回実行委員会を開催。開催日を交流会、懇親会を10月25日、現地体験学習を26日、会場をアルカス佐世保に決定。以降、毎月1回以上開催して実施内容等について協議しました。テーマは、激論の末、新元号となって最初のみちづくしということで、「道守 ReStart!! 平成から令和へ」に決定。これまでの道守活動を振り返り、新時代に向けて新たな一歩を踏み出そうという思いを込めました。交流会の実施内容は、三部構成で、

- (1) 基調講演
- (2) 地元小学校等の活動事例発表
- (3) パブリックミーティング

に決定。パブリックミーティングの時に、客席からの発言者をカメラで撮影して、リアルタイムでスクリーンに投影することにより、会場全体の一体感を出せないかとの提案があり、実現に向けて努力しようということになりました。また、懇親会ではこれまでホテル等に食事の手配を一括発注していましたが、佐世保ならではの料理を、市内の飲食店からそれぞれ持ち寄る方式をとろうと

いうこと、佐世保らしくジャズの演奏を実施すること等が決まりました。そして、翌日の現地体験学習は、検討を重ねた結果、佐世保の歴史を楽しく学ぶ2コースに決定しました。



「みちづくし in 佐世保 2019」のチラシ

2. 大会前夜

さて、いよいよ大会前夜です。実行委員全員が会場のアルカス佐世保に集合です。冷房が切れている中、長時間にわたり全員汗まみれになりながら、最終打ち合わせや舞台上でのリハーサルを行いました。すべての準備が終わった後、実行委員全員の自信に満ちた表情を見た時、私は明日からの大会の成功を確信しました。